



2022年5月13日

各 位

会社名 武蔵野興業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 河野 義勝
 (コード番号) 9635 東証スタンダード市場)
 問合せ先 総務部長 中野 公一
 (TEL 03-3352-1439)

(訂正)「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2022年5月12日に開示しました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載につきまして、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」提出後に、記載事項に一部誤りがあった為、訂正を行うものです。なお、連結貸借対照表、連結損益計算書及び連結包括利益計算書への影響はありません。

2. 訂正の内容 (訂正箇所は下線を付して表示しております)

2022年3月期 決算短信 12 ページ

3 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

[訂正前]

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他(注1)	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>370,555</u>	<u>573,133</u>	<u>335,610</u>	<u>6,549</u>	<u>1,285,848</u>	<u>4,781</u>	<u>1,290,629</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>3,293</u>	70,416	—	—	<u>73,709</u>	—	<u>73,709</u>
計	<u>373,849</u>	<u>643,549</u>	<u>335,610</u>	<u>6,549</u>	<u>1,359,558</u>	<u>4,781</u>	<u>1,364,339</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>△64,691</u>	<u>339,209</u>	<u>72,852</u>	<u>6,549</u>	<u>353,919</u>	<u>4,514</u>	<u>358,433</u>
セグメント資産	<u>145,474</u>	<u>4,414,699</u>	<u>565,127</u>	<u>16</u>	<u>5,125,318</u>	<u>2,071</u>	<u>5,127,390</u>
その他の項目							
減価償却費(注2)	<u>3,620</u>	<u>43,123</u>	<u>10,868</u>	—	<u>57,612</u>	—	<u>57,612</u>
減損損失	247,287	—	—	—	247,287	—	247,287
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	<u>3,325</u>	<u>36,632</u>	<u>12,121</u>	—	<u>52,080</u>	—	<u>52,080</u>

(注) 1. 「その他」の区分は主として著作権収入や自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 減価償却費には、特別損失「臨時休業による損失」で処理した費用9,329千円(映画事業7,277千円、自動車教習事業2,051千円)を含めております。

[訂正後]

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他(注1)	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>289,245</u>	<u>572,909</u>	<u>324,156</u>	<u>41,380</u>	<u>1,227,692</u>	<u>4,660</u>	<u>1,232,352</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>102</u>	70,416	—	—	<u>70,518</u>	—	<u>70,518</u>
計	<u>289,348</u>	<u>643,326</u>	<u>324,156</u>	<u>41,380</u>	<u>1,298,211</u>	<u>4,660</u>	<u>1,302,871</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>△82,659</u>	<u>346,489</u>	<u>97,199</u>	<u>6,574</u>	<u>367,603</u>	<u>3,591</u>	<u>371,195</u>
セグメント資産	<u>154,002</u>	<u>4,446,248</u>	<u>536,720</u>	<u>444</u>	<u>5,137,415</u>	<u>2,043</u>	<u>5,139,459</u>
その他の項目							
減価償却費(注2)	<u>41,432</u>	<u>41,675</u>	<u>12,146</u>	—	<u>95,255</u>	<u>356</u>	<u>95,612</u>
減損損失	247,287	—	—	—	247,287	—	247,287
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	<u>3,982</u>	<u>4,717</u>	<u>3,147</u>	—	<u>11,847</u>	<u>477</u>	<u>12,324</u>

(注) 1. 「その他」の区分は主として著作権収入や自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 減価償却費には、特別損失「臨時休業による損失」で処理した費用9,329千円(映画事業7,277千円、自動車教習事業2,051千円)を含めております。

以上